

2026年産麦の生育状況

12月は平年より気温が高く、生育は順調に進んだ。
1月中旬の草丈は平年より高く、茎数は平年より多い。

※愛媛県農林水産研究所における麦の生育観測結果です。

2026年産麦の作況試験生育調査結果（1月14日現在）

耕種概要 { 播種：11月20日（はだか麦）、11月17日（小麦） 播種量 8 kg/10a
施肥量：基肥 窒素 7 kg/10a、中間追肥 窒素 2 kg/10a、穂肥 窒素 3 kg/10a }

表1 麦類作況データ

調査日	項目	はだか麦		小麦	
		ハルヒメボシ	平年値	チクゴイズミ	平年値
12月 (12/4)	苗立数(本/m ²)	148	154	141	147
1月中旬 (1/14)	草丈 (cm)	20	14	23	16
	茎数(本/m ²)	738	543	705	533
2月中旬	草丈 (cm)		21		26
	茎数(本/m ²)		770		679
	幼穂長(mm)		4.2		4.4
	葉色(SPAD)		44		39
3月上旬	草丈 (cm)		38		47
	茎数(本/m ²)		551		556
	幼穂長(mm)		29.9		24.7
	葉色(SPAD)		44		41
3月中旬	草丈 (cm)		63		64
	茎数(本/m ²)		403		462
	幼穂長(mm)		57.9		64.7
4月上旬	茎数(本/m ²)		392		489
	出穂期		3/21		3/26
	成熟期		5/9		5/23
	稈長(cm)		86		89
	穂長(cm)		6.3		8.2
	穂数(本/m ²)		369		424
	倒伏程度		0.7		1.2
	子実重(kg/a)		40.9		53.3
	屑麦率(%)		22		1
	容積重(g/l)		821		808
	千粒重(g)		33.7		43.5
	原麦白度		14.9		13.5
	精麦白度		48.1		-
	硝子率(%)		57		-
	等級		1.1		1.0

注) 平年値は2021～2025年の平均。- は調査を行っていない。子実重は2.2mm篩上（2021年はハルヒメボシ2.1mm、チクゴイズミ2.2mm篩上）。
倒伏程度は、ム(0)、ビ(1)、少(2)、中(3)、多(4)、甚(5)の6段階。
容積重はブラウエル穀粒計、白度はケット白度計C-300、硝子率はケット硝子率判定器RN840で判定。
精麦はサタケストミル、1040回転/分、砥石40番を使用。検査等級は日本穀物検定協会による(数値は反復の平均)。